

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 8 月 15 日	
所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	岡田佐和子

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
新潟県、妙高高原	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
笹ヶ峰実習(無雪期)	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
平成 29 年 7 月 18 日 ~ 平成 29 年 7 月 21 日 (4 日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
静岡大学准教授 杉山茂先生	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p>	
<p>今回新潟県妙高高原にある京大ヒュッテにて行われた笹ヶ峰実習に参加したためその内容をここに報告する。</p> <p>日程 18日 午前：京大ヒュッテ集合 午後：実習ガイダンス、周辺の散策 19日 午前：涸沢踏査 午後：トクサ沢踏査、ロープワーク講習、登山コース確認 20日 火打山登山 21日 午前：ビバーク講習 午後：ヒュッテ出発、解散</p> <p>初日はヒュッテの周辺を、2日目は沢へ入り散策を行い、様々な植物や昆虫について杉山先生から解説をしていただいた。一つ一つ足を止めて見ると、面白い特徴をもった生物が沢山あり、生き物の多様性や自然環境の豊かさを改めて感じる事ができた。かなり陰しい岩場を登ることもあり、正しい経路の選び方や手足の使い方を学ぶ事ができた。学部時代にオリエンテーリング部で活動していたため、地図の読み方やコンパスの使い方を思い出しながら経験を生かす事ができた。また、地図上の特徴だけでなく、往路で木や花の場所や形を覚えておくことで、復路を歩く際の目印になることも教えていただいた。2日目の夕方は、ロープワーク講習を行った。ヒュッテの近くにある木にブランコとハンモックを設置した。自然の物を使い、自然の中で遊ぶ、ということを中心に全力で楽しめた時間だった。</p> <p>3日目はこの実習のメインである火打山登山を行った。朝5時に出発し昼頃に登頂し、夕方ヒュッテに戻るという行程だった。10時間を超える登山は初めてで、登頂できるか不安であったが、登山道は歩きやすいよう整備されており、順調に頂上まで進む事ができた。終日快晴で、予想以上の暑さだったが、沢の冷たい水や残雪で疲れを取りながら楽しく登山を終えた。今まで写真でしか見たことがなかった美しい景色を実際に眺めることができ感動を味わう事ができた。</p> <p>最終日は、ロープワーク講習とビバーク講習を受けた。ロープの結び方は、単純に見えて実際にやってみると上手いはず慣れが必要だと感じた。いくつか方法を知っておくと生活の中で役立つと思うため、しっかりと身に付けておきたい。ZELTについては初めて学び、多くの使い方があることに驚いた。山での活動はなるべく装備を少なくしなければいけないため、一つの物で多様な使い方が出来るよう知恵が詰まっていると感じた。</p> <p>私は普段実験室でのみ研究を行っているため、学ぶことのないフィールドでの知識や経験を沢山得ることができた実習となった。4日間大自然の中で活動し、自然の美しさや仲間と団らんしながら生活する楽しさを改めて感じる事ができた。</p>	

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



火打山の美しい景色



雪が残る登山道



夕食作りの風景



ZELT を使ったビバーク講習

6. その他 (特記事項など)

本実習は PWS の支援を受け行われました。ご指導いただきました松沢哲郎先生、幸島司郎先生、杉山茂先生、滝澤玲子様にご心より感謝申し上げます。